

一 般 演 題 抄 錄

## 12. RA における滑膜中リンパ球と関節軟骨との相互作用： 接着および軟骨基質破壊

山口 眞一 宗円 聡 山根 敏彦  
神谷 正人 丹 彰浩 貴島 浩二  
堀越 正智 大江 久之 田中 清介

近畿大学医学部整形外科教室

### 目 的

慢性関節リウマチ (RA) におけるリンパ球異常については種々の報告がなされたが、リンパ球と関節軟骨との相互作用についてはあまり検討がなされていない。そこで、今回ヒト滑膜中リンパ球と軟骨基質との接着及び、軟骨基質破壊に及ぼすリンパ球の影響について検討した。

### 方 法

対象は RA 4 例、変形性関節症 (OA) 4 例で、末梢血、関節液、関節滑膜および関節軟骨を採取した。末梢血および関節液リンパ球は Ficoll-Hypaque 比重遠沈法により分離し、滑膜は細切後コラゲナーゼ処理を行った上でメッシュを通し比重遠沈法によりリンパ球を分離した。関節軟骨より直径 5 mm、高さ 3 mm のディスクを採取し、Cr ラベルしたリンパ球を加え、1 時間 30 分培養後洗浄し、0.1N NaOH にて付着細胞をはがし、放射活性を計測しました。軟骨

基質破壊の方は、同様にリンパ球と軟骨ディスクを培養し、24 時間後に glycosaminoglycan (GAG) の遊離量を DMB assay にて計測した。

### 結 果

OA 各リンパ球、RA 各リンパ球と軟骨との接着は、滑膜リンパ球と軟骨ディスクとの接着率が有意に高く、OA と RA とを比較すると、RA 滑膜リンパ球と軟骨ディスクとの接着の方が有意に接着率が高かった。また、軟骨ディスクよりの GAG 遊離は、OA、RA とも滑膜リンパ球添加により増加し、リンパ球未添加時、添加時、添加による増加とも RA のリンパ球、軟骨ディスクの組み合わせの方が OA より有意に多かった。

### 結 論

RA におけるリンパ球と軟骨基質破壊との関連が示唆された。